

【設問12】 その他「大分県美術館構想検討委員会」の答申についてご意見があればお書きください。

ご意見の概要	回答件数	割合
<p>ぜひ別府市に美術館を建設してほしい。 温泉の湯けむり、海と山の景観は世界に誇れる。おもてなしの別府は最適。 別府に来る観光客に来てもらえるような美術館を創ってほしい。 別府市は温泉、自然に恵まれアルゲリッチ音楽祭等多くの芸術にも恵まれている。 別府の温泉観光文化都市としての、温泉文化・観光文化・山と海に囲まれた湯けむりのある別府らしさがみられる美術館を建設してほしい。 別府は「日本のナポリ」といわれている。 別府は海山に囲まれ、温泉がなんと言っても宝のようなもの。連なる山に四季を演出するという美術館に最もふさわしい地であり、魅力的な美術館となりそう。 別府は観光客や外国人が多く、大分県の芸術を知ってもらい、広げることが可能である。 別府は恵まれている。 湯の町にまつわる芸術もあると思う。それらを活かした出展ができるような環境があると別府の発展にもつながる。 湯の町別府のアピールにつながる。 温泉成分の影響を避け、工場から出る排出ガスや海からの潮風の影響を受けない別府に美術館を建設すれば、湯の町別府というアピールにつながる。</p>	37人	6%
<p>基本構想に基づいていれば特に意見なし。 答申に賛同する。 答申の趣旨を活かすための英知を結集して欲しい。 答申どおりすべてが達成できるように最善の努力をして欲しい。 答申で十分にまとめられている 大分県民の美意識の高さを評価している点でとてもよい どれも良い 検討委員会の3つのコンセプトには大賛成。「生きている美術館」の建設が予感できる。 3つとも素晴らしいと思う。 コンセプトは立派なものだと思う。(「大分らしさ」「大分スタイル」は別として)素晴らしい美術館をつくってください。 答申の内容はとても素晴らしいと思います。このような美術館が大分に出来たらとても嬉しいし県民として誇りに思います。</p>	25人	4%
<p>出来るだけ早い時期に実現して欲しい。 早期の美術館建設を願っている。</p>	21人	4%
<p>由布市湯布院町の調査研究検討を進め、是非由布市に来て欲しい。 由布院という世界中に通用するブランドイメージを大分の宝として美術館構想に活かして欲しい。 由布院は、より多くの人に足を運んでもらうには、交通アクセス上、最も優れている。 大分県のだ真ん中が由布市。 大分県を訪れる観光客にどの場所を紹介したいか考えた場合、まず思い浮かべるのは「由布院」ではないか。美術館があれば観光客に胸をはって紹介できる。 全国ブランド湯布院。 夏は避暑地、冬は雪化粧という湯布院のロケーションは、四季を感じる美術館にぴったりだと思う。 美術館のある土地を訪れる魅力が美術館の魅力に繋がっていること。由布院の自然に繋がる。 湯布院町には小さな美術館が点在しており、この地に中核となる県立美術館が建設されることで、美術館のまち湯布院として更に多くの観光客の期待が広がる。また由布岳をバックにした背景が非常に絵になる。四季折々に違った印象を抱く。 湯布院町は全国的に訪れてみたい町の上位にあげられ、注目されており、地域の環境も素晴らしく、交流者も多く望める。 湯布院は20年間駅アートホールの活動を続けているので地域の人々に受け入れられやすい。 県立美術館とアートホールが連携した作品展も期待できる。 湯布院町は大分の中でも特に四季を強く感じる事が出来る地域であり、美術館に行くことが一つの行楽となり、今まで以上に集客できる。 交通の便が良く、景観も由布山をバックに最高 南由布から全国へ発信する芸術の拠点 訪れやすく、由布岳が美しく見え、四季の変化が感じられる 一周歩くの約2時かかる由布院に彫刻品など展示する「自然の中にある美術館」構想。 盆地そのものの暮らしの息づかいのする美術館にする。本田静六博士の提言はこの考え方にヒントを与えてくれる。 県内観光地のトップである湯布院町に町と一体化した美術館があれば「おもしろい」と思う</p>	20人	4%

ご意見の概要	回答件数	割合
海外作家の作品展を多く開催している県外の美術館を参考にしてはどうか。 いろいろな美術館を様々な分野の人と一緒に視察し、意見を出し合って決めて欲しい。 県内、近県の美術情報を多く集めてほしい 金沢の美術館のような美術館にしてほしい。 四国の島に安藤忠雄の美術館が有名で特徴がある	7人	1%
周辺も潤うようなまちづくりをして欲しい 県下の一村一品の生活必需品はじめお土産の殿堂であること 私は全くの一市民ですが、芸術—特に美術部門は建築と切り離せないと思いますので、まちづくりへの相談、窓口の一角を示していただけませんかと密かに考えています。町並み保存と町並みを考える県民の会の一会員ともあまりだという景観が多いので。 観光用大分川ダムの早期完成を願う	4人	1%
築30余年で老朽化とは短すぎる。せめて100年くらいは使用できるような建物にしてほしい。 50年、60年長持ちし、建物に歴史を感じるようなものがある。	4人	1%
中原谷地区は答申の諸条件にふさわしい適地であり、行政の責任として有効活用して欲しい	4人	1%
交通のアクセスの良いところにしてほしい。 交通の便が悪く、駐車場の遠い位置など絶対に許せない。交通アクセスを重視する。旧香の森博物館はあの場所に建てる県の姿勢を疑問視する。 車でのアクセスや駐車スペース又はJRやバスでのアクセスのよい場所がいい。 駅から近い、バスの本数が多い、案内板が多いなどアクセスしやすい工夫やカフェ・ミュージアムショップを充実するなど、気軽に立ち寄れるといいと思う。	4人	1%
「五感を刺激する」美術館は、非日常や、異空間性をもとめすぎないでほしい。奇をてらった意匠は陳腐化の危険も高い。 「五感を刺激する」は絶対やめて欲しい。身体障害のある人に失礼 「五感を刺激する」は新しくない	3人	1%
上野が丘東の県立芸術文化短期大学の一角という立地条件は最上であると思う。 大分市中心部のシンボリックな建物(独創的な)にして欲しい。 オアシス21は芸術性のある建物であり、その近くに建設すればオアシスと周辺商店街の活性化にもつながる。	3人	1%
厳しい経済状況だからこそ県民の理解が得られる美術館をつくって欲しい。 県民に夢をください。	3人	1%
将来をにらみ独特の構想とアイデアで他県に劣らぬものを期待している。 将来を見込んだ素晴らしい美術館を希望する。	3人	1%
是非建設してほしい。	3人	1%
総花的になって焦点がぼけたり、ずれたりしないように。 いろいろ求めすぎて、どこにでもある美術館にならないように努めてもらいたい 美術館に多くを求め過ぎてはいけない	3人	1%
周りの景色も楽しめる場所 建物だけでなく、周辺の景観、立地地区のイメージも大事 美術館を撮影したときに一番「絵」になる場所に建てて欲しい	3人	1%
和久洋三氏の積み木を取り入れて、大分の子どもの感性を育む場所にしてほしい。大人でも取り組めるものなので、中高生の美術講座や芸短大生にも触れる機会を作って欲しい。	3人	1%
「四季を感じる」美術館は、今回の新美術館だけで完結するものではなく、抽象的過ぎるのではないか。四季や自然を持ち出すのは、田舎の美術館の常套句。立地環境に調和することは、当然であって、コンセプトとして掲げるほどのことなのか。 「四季を感じる」美術館はいいが、交通機関の発達していない大分県では高齢者や子どもではとうてい無理な話だ。五感を刺激するのでもいいが、欲張りすぎではないか。	2人	0%
大分県に美しい美術館は必要である。	2人	0%

ご意見の概要	回答件数	割合
大分らしい美術館づくりに邁進して欲しい	2人	0%
カタカナの意味がわかりにくいのでコンセプト(基本理念)などの説明をして欲しい	2人	0%
結論を出すまでに大いに議論、検討し、周囲の意見や一般の人の意見や見識を十分に聴く機会を持って練り上げて欲しい。	2人	0%
県立美術館と市立美術館のコンセプトの差異が疑問。 これまでの県立芸術会館での美術館としての活動内容は大分市美術館と多く重なっています。 今後両美術館の十分な協議と協力体制のもと、その棲み分けや役割分担を考えていく必要があると思います。	2人	0%
コンセプト実現のためにかなりの投資が必要だと思うので、実績を上げるための実証実験をしておくべき 芸術会館30年の検証を行い、より多くの県外の人々が来館することを目標とした美術館の建物が最大の目標と思う	2人	0%
周辺の自然環境や景観を借景できる美術館	2人	0%
設計等はコンペ等で幅広く応募できるように若い設計者へのチャンスも与えてほしい。	2人	0%
全国的に見て情けないように感じます。先人に立派な芸術家が多いので、もっと素晴らしいものを建てて欲しいと願っています。普通の箱とは違う、重要な設備であるので、他に誇れるような物をつくっていただきたい。	2人	0%
大学の研究発表や作品展示の場などとして利用したい。	2人	0%
駐車場も十分用意できるスペースが必要	2人	0%
展示スペースの拡充、常設展示室の設置について積極的にすすめて欲しい	2人	0%
別府という観光都市に美術館を建てるメリットは大きい。	2人	0%
本当につくって欲しい	2人	0%
末代まで受け継がれるような立派な美術館を	2人	0%
「新たな土地に新しく県美術館を建設するしかない」という強い意志を感じた。「未来の子どものため」にも必要と明記するのなら、1日1病でも早く動き始めて欲しい。子どもは日々成長しているので、タイミングを失うことのないように迅速な対応を望む。	1人	0%
「海たまご」のようにキャッチコピー一つで表されるようなコンセプトがよいのではないか。	1人	0%
「大分スタイル」ありきではなく、具体的に計画が進んでいく中で、「大分スタイル」が表現できれば良いのではないか。	1人	0%
「大分らしさ」「大分スタイル」へのこだわりがよくわからない。 幅広く美術品を収蔵し、展示する美術館に「地域性」がなじむのだろうか？	1人	0%
「子どもの育成」「若者の育成」に「高齢者の生きがいサポート」を加えて欲しい。	1人	0%
「四季を感じる」や「五感を刺激する」と銘打つなら、名前は「芸術会館」とするべき。限定から総合へという時代の趨勢に逆行し、不自由さを与える感じがする。	1人	0%
「負の遺産」にならないように願います。	1人	0%

ご意見の概要	回答件数	割合
<p>1 出来上がった建物や周囲環境がどれほど魅力的であっても、その後の運営がお粗末であつては新美術館建設の意味はない。大分県民にとって今後、新しい美術館が誇れるものとなりうるか否かは絶えず変化する時代や社会の流れに対応する館の運営のあり方にある。</p> <p>2 運営主体としては現状の県教委から切り離し、独立性が確保できる運営形態が望ましい。</p> <p>3 事業活動として「竹」の事例が挙げられているが、これに関しては大分県立美術館(大分市)に付随する形で「大分県立美術館工芸館」(別府市)を設けることも一案である。</p> <p>4 大分県立美術館の名称についても新たに考えるのが良いと思われる。</p>	1 人	0 %
120万人の県にふさわしい美術館を	1 人	0 %
15500㎡の美術館の構想に当たって、この時代だからこそ建設総額を明示すべきなのではないだろうか。もう一つ、「芸術」を軸に県と市の協働がはかれたいのだろうか。協働によって管理が難しくなる面はあっても、相乗効果やコスト削減が期待できると考えます。	1 人	0 %
5号地周辺を街ぐるみで整地して、かんたんから海沿いに道をつくり、公園なども一緒に整備しては	1 人	0 %
アクセスが便利であること。	1 人	0 %
アジアや世界に発信し、観光誘致に繋がるような場にしてほしい	1 人	0 %
新しいことを成すには「人と金」特に「人」が重要。協力者を多く集めることを頑張る。	1 人	0 %
新しい美術館が必要という答申に全面的に賛成します。時間をかけて作られたこの結論について行政として真剣に考えて欲しい。美術館画かたちだけの大きな容れ物にならないよう、利用しやすく参加出来る施設となる必要があると思います。町の中心部にあること。	1 人	0 %
新しい美術館建設には多額な資金を必要とする。寄付金を募る。高額者は別扱いとし、一口1万円～10万円程度を絵画・写真・書道の愛好者にお願する。寄付者には美術館の入場券などを配布する。	1 人	0 %
新しい美術館では、子どもたちが参加できる美術や創造活動に力を入れてほしい。	1 人	0 %
新しい別の場所に建設という答申となっているが、リニューアルの場合の費用等の検討が必要だと思う	1 人	0 %
いいものを日本の子どもに見せてあげたい	1 人	0 %
委員会としては大分県のエリアだけでなく、九州または東九州美術館という大きい範囲でコンセプトや企画の構築が必要である。県内だけの集客を見込んだシュミレーションではとうてい理想的な構想には及ばない。	1 人	0 %
一般人が納得できる結論を	1 人	0 %
一般成人向けのプログラムをもっと充実させることが大事である。大人の生活の中に美術館があれば、自然と子どもは興味を持つはず。	1 人	0 %
今は車の駐車ができる交通の便がとても優先される気がする	1 人	0 %
今までは福岡の美術館・博物館を利用していたが、遜色ない企画を実施してもらいたい。	1 人	0 %
今までは不便だったが、交通の便利なところなら障害のある人も高齢者ももっと鑑賞できると思う	1 人	0 %
癒し・食・遊び心を取り入れた美術館構想を視野に入れて欲しい。	1 人	0 %

ご意見の概要	回答件数	割合
色を付けなければ答申とは言えないと思うが、あまりにも理想過ぎるのでは無いか。要は、研究、資料の収集・保管と展示、美術家への展示場の提供、県民の感性向上のための各種企画展などの開催場所の確保であって、答申などに左右されず、文化後進県にならないよう知事自らの決断を期待したい。	1人	0%
いわゆる専門家の集まりで答申された内容のように感じます。専門家も大事ですが、利用する県民の立場に立っての企画立案を期待しています。	1人	0%
エレベーター、多目的トイレの充実。高齢者への配慮としても迷わないづくりの建物であること。	1人	0%
美味しいレストランやカフェも欲しい	1人	0%
大分駅ビル上階に美術館を設置、県と市の枠を外した発送を「大分スタイル」	1人	0%
大分駅南に建てることにより、駅をはさんで商業は北、芸術文化は南とどちらも自由に気軽に利用できる位置になる。	1人	0%
大分県出身の有名人、財界人の方々にしっかり応援してもらいたい	1人	0%
大分県に過ぎたるものが3つある、「美術館と温泉、食文化」と言われるようなものを目指して	1人	0%
大分県には全国で唯一、地質や化石等を展示する自然史博物館がないが、火山やリアス式海岸など全国に誇る自然が沢山あるので、自然史博物館を併せ持つ美術館にすれば、全国的にもユニークな存在となり、様々な情報発信が可能となる。	1人	0%
大分県民はアーティストにやさしい	1人	0%
大分市が立地場所であれば、美術館建設に反対します。	1人	0%
大分市中心部を希望している。立地条件を活かし芸術の高さで県民の意識改革、グレードを上げて欲しい。中心部の空洞化、活性化にも役立ち、子どもから大人まで歩いて行ける共有の場として活動できる美術館であって欲しい。	1人	0%
大分市では市美との棲み分けが困難であり、駅周辺の慢性的な渋滞が美術館へのアプローチにふさわしくない	1人	0%
大分市美術館とも協調しながら盛り上げて欲しい。	1人	0%
大分市美術館もある。市と県の運営が違うだけで2つも要らない。	1人	0%
大分に住んで良かったと思えるような美術館を実現して欲しい。	1人	0%
大分に根付く文化・習慣を形にして、県民で共有し、大分の発展に繋げてほしい。	1人	0%
大分のアナウンサーにいろいろ紹介してもらおう	1人	0%
大分の位置を説明するのに話題となり得る場所	1人	0%
大分の活性化できる一つのきっかけになればよいと思う	1人	0%
大分の次代のために、県民が誇りを持つ意識づくりに役立つよう努めてもらいたい。	1人	0%
大分よりも由布院にある方が人びとの往来が起こり経済活動にプラスになると思う。	1人	0%
大分らしい美術館の建設	1人	0%
大分らしい美術館のもと県民が美術館に対し愛着、感動が持てるような憩いの場・交流の場にして欲しいと思います。	1人	0%

ご意見の概要	回答件数	割合
大分らしさにとられすぎて、芸術に触れる機会を失うことのないようにして欲しい。	1人	0%
大型の企画・実施を望む	1人	0%
大きく充実した美術館。遠慮して小さくならないように。	1人	0%
大きな展示会が出来るような美術館が必要	1人	0%
大きなハコモノをいくつかの固まりにして欲しい(ピーコン、グランシアタ、能楽堂などばらばらの主張)	1人	0%
多くの収蔵品を活用し、気軽によれる美術館になって欲しい。	1人	0%
多くの優れた芸術家を輩出した大分にふさわしい美術館であって欲しい	1人	0%
多くの人が楽しめる場づくりを考えて欲しい	1人	0%
多くの人々が建設して良かった思える、また来たいと思える美術館になることを願う。	1人	0%
大幅な修理をしなくてすむように日頃から悪いところはすぐ修理するようにしてください	1人	0%
お金がかかってもいい美術館ができれば県民は納得する	1人	0%
お金の無駄がないように、将来に誇れる建物を造って欲しい。	1人	0%
押しつけて作るのではなく、県民が利用しやすい立地環境を一番に考えてほしい。	1人	0%
お年寄りの方を考えるとシャトルバスのようなサービスも必要	1人	0%
訪れた全ての人に癒しと幸福感を与える素敵な美術館の新設を心から望んでいます。建設に取りかかる前に、答申の実現に向けてきめ細かな論議が必要だと思います。	1人	0%
外形だけでなく文化の中味を向上させる努力を考えて欲しい	1人	0%
外見だけでなく、運営(企画)が充実した中味に期待	1人	0%
会社勤務をしている人もいろんな考えを持っている。会議日程が平日であったため、大分県美術館構想検討委員会に応募できなかった。	1人	0%
香りの森のように遠いと活用できないので考えて欲しい	1人	0%
掲げるものは素晴らしいが実践が伴わないということにならないように期待している	1人	0%
各学校の子ども等に意見を聞けば頭の固い大人に聞くよりよっぽどいいと思う	1人	0%
学習の場としての機能も願う	1人	0%
各種文化組織をもつ代表会議開催(会員数にて制限する)。	1人	0%
貸し館ばかりだと公立美術館の主体性が感じられなくなるのでやめてほしい。	1人	0%
家族連れや観光客等終日楽しめる画期的なものであってほしい。	1人	0%
堅苦しくない美術館がよい	1人	0%

ご意見の概要	回答件数	割合
仮に新しく美術館を建設し、移転したとして後にのこる現在の施設をどうするかについても考えておく必要があると思います。市民によるワークショップやアーティスト・イン・レジデンスなど、ふりなりの使い方があり、美術館別館として活用するコンセプトがあってもよいかも知れません。	1 人	0 %
環境にマッチしたデザインができる設計者を選んで欲しい。	1 人	0 %
関係図書、案内、全国でのおもな施設の案内等	1 人	0 %
韓国、中国等アジアから訪れる方を意識して建物・展示等を計画してほしい。	1 人	0 %
鑑賞者の視点は十分に反映しているが、作品を搬出入する者の視点が欠落している。特に機能は設計段階で重要と思われる。	1 人	0 %
鑑賞だけでなく、ミュージアムカフェやミュージアムショップ、県産物品のショールームなどが併設された多目的空間であることを期待する	1 人	0 %
完成後の運営委員や県民の参加を積極的に進めて欲しい	1 人	0 %
完成した作品もだが、実技の過程の方が興味がある。(版画…)	1 人	0 %
館長やスタッフはこの道のスペシャリストであり、広い見識を持つ人でなければならないと思う。	1 人	0 %
館に行けば文化のすべてが分かるという指導的な人材と用材の完備	1 人	0 %
館に入るまでの階段の段差を低くしてほしい。 駐車場を広くしてほしい	1 人	0 %
館も建築美術であり夢ある美術館を期待	1 人	0 %
気軽に立ち寄れる楽しみの多い魅力ある美術館を	1 人	0 %
気軽に待ち合わせ場所などにも使えるよう街中や駅周辺などに建設し美術館が市民の生活に溶け込むようなところであってほしい。	1 人	0 %
机上でなく、立体的なプラン策定を。有名建築家などの奇抜なデザインや県民の中から優秀な学生などを入れ、プロジェクト型(参加型)を検討してほしい。	1 人	0 %
貴重な収蔵品を多く展示して欲しい。又、未来に亘って残していくためにも、設備が必要。	1 人	0 %
喫煙場所は囲いをするだけでなく、煙の漏れないちゃんとしたものを作ってほしい。	1 人	0 %
機能性重視	1 人	0 %
九州一を目指して欲しい	1 人	0 %
教育機関としての美術館の役割、文化保存の役割を担う場所は絶対に必要。美術関係者だけの箱物にならないよう、県民に還元される企画・運営を期待する。	1 人	0 %
興味のない人も立ち寄れる場、憩いの場なるように考えて造って欲しい。	1 人	0 %
近郊商店街アーケードに作品展のポスター、レプリカ、マーケットを設置、展示し、美術館までの長い導線をつくる	1 人	0 %
近隣に来やすく宿泊できるホテル的設備	1 人	0 %
具体的な予算が出てなかった	1 人	0 %
車いすでも利用できるトイレ、授乳室、おむつ交換スペースをつくってほしい。	1 人	0 %

ご意見の概要	回答件数	割合
グレードの高さを堅持しつつ、県民が気楽に利用できる美術館	1人	0%
芸館のリメイクでなく、新美術館建設の必要性を訴えていただきありがとうございました。 子どもの頃から、美術を愛好してきた県民の一人として、是非よい美術館が建つことを期待しています。 本県の芸術文化レベルを向上させていきましょう。	1人	0%
経済の基本は「入りを計りて出ずるを制す」である。借金をあてにするのであれば、もう一度事業計画を見直すべきである。	1人	0%
芸術会館という名前が気に入っていました。	1人	0%
芸術会館のホール棟については、設備を改修し存続させて欲しい。	1人	0%
芸術会館のホールは役割低下と書かれているが、駐車場が広く便利だった。新しいホールがどんなものかよく分かっていないので、残念な気持ち。	1人	0%
芸術会館のように形だけ作ったという事のないよう、日本の中でも有名で、100年以上持つような立派なものを作って欲しい。	1人	0%
芸術会館も公園にするとか、彫刻の森にするとか有効活用してほしい	1人	0%
芸術会館をはじめ近場の美術館に働きかけ、サテライト的役割として市民に美術に接する機会を提供するといったような美術ネットワークのあり方も構想に盛り込んでもらいたい。	1人	0%
芸術の創造、鑑賞の発表及び老若男女の創意工夫のできる拠点の館としてもらいたい。	1人	0%
芸術文化に誰でも簡単に触れる機会を与えて欲しい	1人	0%
芸術を志す若者が働きながら創作活動ができるような場所をこの施設を通じて提供するなどの一面があっても良いのでは。	1人	0%
芸短大は元々別府市にあったのだから、ビーコン周辺の美術館にしてコラボして欲しい。	1人	0%
芸能・スポーツができる文化ホールを併設してほしい。	1人	0%
県外、海外へ発信していくためには、湯布院町の景観とネームバリューを活かすことが有効である。	1人	0%
県外からの来館者のことも考慮し、県庁所在地の大分市にすることを願う。	1人	0%
県外に「大分」と言えば「県立美術館」と言われるくらい魅力ある美術館がよい	1人	0%
県外のお客さんが来たときに案内できるような自慢のできるものにして欲しい。	1人	0%
県財政を追い込むようなものにしては絶対にいけない	1人	0%
現在の子どもたちが教科書だけの世界に閉じ込めないで、本物を見てもらいたいものです。(大きな事は出来なくても小さいことの積み重ねでも良いのでは)情操教育のため。	1人	0%
現在別府はさびれゆく一方です。 駅前の空き地も別府のイメージを非常に悪くしています。 是非美術館の建築は別府にお願いしたい。 又、別府図書館もお粗末な物です。 市とも協力して美術館と図書館の複合する建物にして欲しい。ホールはもう十分です。 自然との融合・調和ですとラクテンチ前のプール跡地です。 公園の中に美術館・その場所が憩いの時間を作れる癒しの空間であって欲しい。	1人	0%
現実的な考えで、現時点で既に過去の考えになっている。	1人	0%
現状維持にとどめておくこともよいと思う	1人	0%

ご意見の概要	回答件数	割合
建設するのであれば、大分県内の設計者、建設業者でお願いしたい。ただし、設計技術や運営ノウハウは世界的なものを10年計画で勉強し、急がずじっくり取り組むべきだ。公共の施設は余分なスペースやモニュメント等あり、機能的でないものがほとんどである。機能が悪く、それに余分なコストがかかっているという馬鹿げたものが多い。	1人	0%
建設する場合は、県下一円の住民(特に子ども達)がいかに利用してもらうか知恵を絞る必要がある。 答申では、施設整備以外への言及が少なく、所蔵品で足りないものは何か、鑑賞教育に十分に組み組めないのはなぜかといった、運営面の具体的な課題が見えてこない。学芸員等職員の声を反映したレポート作成を期待する。	1人	0%
建設する前に本来の必要性からかけ離れるようではダメ	1人	0%
建設の設計は一般からの公募がよい	1人	0%
建設費にお金は出しても開館以降にはお金を出さないということのないようにして欲しい。	1人	0%
建設費やランニングコストなど大変でしょうが、中長期視点に立って、少なくとも国内で誇れるような美術館を作っていただきたい。	1人	0%
県全体を振興させるには県立美術館は県中央部に位置すべきで、将来のアクセス構想、拠点構想も選考の重要事項である。	1人	0%
検討委員会および委員の意見や判断は、学識経験や社会的地位の高さから、一般県民の価値基準や嗜好から遊離しがちである。敢えて、素人的な感覚や好みを反映した、答申及びその推進、議論が好ましい。	1人	0%
県内の個人の美術館を活かす取組	1人	0%
県内の作家に限らず、活動中の作家へのバックアップをお願いしたい。	1人	0%
県内の児童・生徒や学生の教育が主眼になると、香りの博物館の二の舞になる。	1人	0%
県の財政状況とランニングコストの配慮	1人	0%
県民・市民が美術館と解け合えるシステム。入ったら、なかなか出られない美術館も面白い。	1人	0%
県民意見を吸い上げて欲しい	1人	0%
県民が気楽に利用できる美術館。	1人	0%
県民が芸術文化に触れる機会の充実をはかる意味からも他県と同等のまたはそれ以上の美術館の規模を拡張することが必要と思われる。九州では大きな展覧会を観るためには、福岡まで行かなければ見られないなどの問題を解決するためにも、ゆったりとしたスペースのある美術館がほしい。	1人	0%
県民が自由に見学できるようにして欲しい	1人	0%
県民が楽しく親しみ誇れる美術館であってコミュニケーションの場となり、茶の間の存在となって発展し繁栄することを期待する	1人	0%
県民が納得する施設建設、環境を考慮した場所の選定、予算との折り合いなど検討すべき項目をクリアーして、構想を策定してください。	1人	0%
県民から寄付(全県民)を希望する	1人	0%
県民が利用できる学習室の充実、整備を希望	1人	0%
県民主体の県民の納得する県民が誇れる美術館であって欲しい。	1人	0%

ご意見の概要	回答件数	割合
県民性として美術芸術に共鳴する人の数は少ないのではないか。	1人	0%
県民の癒しの場になることを望む。	1人	0%
県民の教育活動の活性化に寄与すると思う	1人	0%
県民の自慢となる、何度も訪れたい美術館。	1人	0%
県民の自慢となる個性ある美術館	1人	0%
県民の誇れる芸術文化の拠点として、また美術に関する教育の施設として立派な美術館を建設して欲しい	1人	0%
県立芸短もあることだし、しっかり育てて欲しい	1人	0%
県立だけでなく、市立、区立の美術館との比較資料も必要。調査対象を増やし、大分市美術館とも協議を重ねながら考えていくべき。	1人	0%
県立の美術館として県民への知的サービスをいかに提供するかをもう少し検討するとよい。	1人	0%
県立の美術館なので、大分県民のみんなが喜ぶものをつくってほしい。県内のどこかに新しく大きな美術館をつくるのもよいと思いますが、ある程度の規模の「本館」とちいさな「分館」2ヶ所の計3ヶ所をつくるというような案もよいのではないか。	1人	0%
県立美術館が旧厚生病院跡地に建設されれば、竹町、中央町、都町の街中心部は更に発展する。	1人	0%
県立美術館と大分市美がタイアップしてワンペーパーの情報があるといい	1人	0%
県立美術館は、県立総合文化センターを有効活用することが望ましい。	1人	0%
県立美術館は10年ほど前に建設されていればと思うと残念。財政が厳しいので県民の理解を得られるまで相当の努力が必要だと思う。	1人	0%
県立美術館は大分の街作りの一環として行うべき	1人	0%
県立美術館を中心にネットワークを広げ、大分県全体が潤う美術館を目指してほしい	1人	0%
県をあげての取組が必要であり、由布市に建設することで大分市への集中を避けることができる	1人	0%
県を代表する美術館が存在することが大事である。	1人	0%
県を代表する美術館としては、モダンで芸術センスのある利用勝手のあるものにしてほしい。	1人	0%
ご意見の数々。そうであって欲しいですし少なくとも美術館でのひとときが誰にでもあるように。美術館がなくても我が家が家族と友人が美しい優しい物に囲まれてかたりできる場に発展させられたら。と常に思っています。ところがTVは居酒屋さん、一杯飲み屋さん、お好み焼き屋さん、余り上手でない場所から離れることなしです。そして車がない、そこだけが居場所のような美術館に期待します。	1人	0%
公共交通機関が整っており、全ての人が訪れやすく、美術館に訪れたついでに大分県のアピールにつながる。	1人	0%
構想検討委員会の委員の中に県外の美術館長を2名ほど参加させるべきではなかったか	1人	0%
構想図が絵に描いた餅にならないよう一つ一つの提案をより県民の側に立って、具体的に示してほしい。	1人	0%
構想にあたっては、展示会の内容だけでなく、人の流れを作る構想も大事	1人	0%

ご意見の概要	回答件数	割合
交通(シャトルバス等)を考えて欲しい	1人	0%
交通の便のよい駅に近いところ、スペースのある美術館を希望	1人	0%
交通の便の良いところに造って欲しい。	1人	0%
交通の便や県民が利用しやすい場所として、大分駅南東一帯を(市の美術館も含め)、大分の文化圏として、様々な文化的施設を総合的に加味した県民いこいの場の空間ができるといいと思います。熊本の美術館の敷地のような芝が広大にあり、県民や訪れた人々が、ゆったりと過ごせるスペースがある等の全体の景観も考慮に入れた美術館建設になれば・・・と思います。	1人	0%
交通の便をよくしてほしい。	1人	0%
高齢化社会であることを踏まえ、場所や内容を考えないと失敗すると思う。大分駅周辺に一極集中させ、一步一步ゆったりと時間をかけて歩き回り、楽しみたい。府内町や大手町などに小さな彫刻の展示がいくつもあり、上野の森から、オアシスなどを一つの大きなエリアとし、美術・彫刻・歴史作品などを掘り起こし、県外客も食事、芸術を楽しめるような町につくりあげてほしい。	1人	0%
高齢化社会に対応、率先した設営、駐車場から館内への最短、優先的設備、車いすの充実等	1人	0%
高齢者のために、握力が弱っているので手すりは小さいものがよい。階段の高さや休憩場所の配慮も。	1人	0%
高齢者や子ども・障害者が楽しめる美術館。特に立地条件・交通事情。	1人	0%
国勢も県勢も学力もスポーツや芸館の勢いと比例している。そのためにも是非実現して欲しい。	1人	0%
国道10号を軸に大分駅をはさんで県立図書館、iichiko総合文化センター、県立美術館(現芸短大の一角)となれば、市民、県民、また、他県の人々も便利がよい。	1人	0%
国内外の美術館を見聞、調査し、最新情報、管理システムを備えた大分県らしい品格のある美術館であることが肝要である。	1人	0%
国内を巡回するような世界的な名画等が展示できるような、県民が質の高い美術に触れる機会を十分に提供できる広々とした美術館を建ててほしい。	1人	0%
ここから先は、日本のトップランナーにお力添えを頂くべきだと考えます。ディレクションには第一線で活躍されているディレクターが介入することが当たり前の時代です。個人的には「事をデザインする」力をもった日本デザインセンターの原研哉氏にこのプロジェクトをまとめあげてほしいと考えています。	1人	0%
ここ数年の芸術会館の特別展、企画展は魅力が出てきたので、この企画力を活かし、さらに魅力的な美術館を創造して欲しい。	1人	0%
心の癒しを満喫できる保養温泉地にこそ芸術は必要であり美術館は似合う、単なる美術館の位置づけでなく、地域づくりの中核となる美術館にして欲しい。	1人	0%
言葉はきれいでもありふれた美術館はやめて欲しい	1人	0%
子どもたちが美術品に親しめるコーナーも作ってほしい。久留米にある石橋美術館や青少年科学館を参考にしてほしい。	1人	0%
子どもたちだけでも公共交通機関で安心して学外学習として来場出来るような美術館	1人	0%
子ども達に「夢」を与えられる。子ども達が「夢」を語る美術館を期待。「夢美術館」、「夢」がなければ先には進めない。先人達を見習い、先人達の教えを考え「夢」を語りたい。	1人	0%
子どもたちの創造性を育む場所として力を入れてほしい。	1人	0%
子どもの未来のために期待している。	1人	0%
子どもの喜ぶ企画	1人	0%

ご意見の概要	回答件数	割合
子どもや高齢者のためには公共交通機関で寄りつきやすい場所にしてほしい。	1 人	0 %
これ以上、どこかの田んぼをつぶして建てる方式は遠慮していただきたい。	1 人	0 %
これから、高齢化社会になり、体力的に弱くなる。特に障害者対応を考えた機能の充実を再度検討して欲しい。再検討すれば自ずから改築するか、移設する必要が出てくる。大分らしさも自ずから生まれてくると思います。	1 人	0 %
これまでの行政活動の中で芸術への強力な関心があったとは感じられない。県産品の強化(一村一品運動)→スポーツ振興(車イスマラソン)→芸術県(?)。	1 人	0 %
今回、新しい美術館を検討とのこと、大変嬉しいです。 是非、立地条件の良い別府に持ってきて下さい。 新しい大分県の出発にして欲しいです。 大分は本当に文化・芸術が弱いです。人の熱い気持ちがあれば、湯布院の映画村、別府の音楽会とやれると思います。 別府の市役所周囲の素晴らしさをみなさまに見ていただき、別府の観光の街をいまいちど活気のあるものにしていただきたいです。 別府市長本当に頑張っています。	1 人	0 %
今後の利用を考え、家人、観光客等の利便性の良い場所に設置してもらいたい。	1 人	0 %
財政状況厳しい折、いたづらに新奇をこらさず、オーソドックスな建物を建てて欲しい。幹のところはしっかりして、後は節約してもよい。	1 人	0 %
様々な意見の間を取るのではなく、斬新なものを	1 人	0 %
様々な思惑、大人の事情はあると思うが、大分で暮らす人々、育っていく子供たちに”本物”をつくってください。 見せかけだけではないものがそこにある、それを”大分らしさ”にしてはどうですか？	1 人	0 %
様々な分野の人からなる協議会を作り、県民の意見を取り入れてもらいたい。	1 人	0 %
静かな思考ができる自然も欲しい。 子どもが遊べる所。	1 人	0 %
施設等の都市集中ではなく、農村部への分散を願う	1 人	0 %
施設利用者のために展示室の横に控え室を作ってほしい。	1 人	0 %
自然環境、エコ、豊かな飾り気のない自然田舎公園を含有したトータル美術館であって欲しい。	1 人	0 %
自然にめぐまれた(四季を感じる)大分県全国に誇れる美術館、若者、高齢者に愛される素晴らしい感動を得ることができるのではないのでしょうか、楽しみにしております。	1 人	0 %
下の世代を育てないと大人になってからでは美術館に来たいと思わない。	1 人	0 %
市町村とも強い連結	1 人	0 %
実際に多くの企画展に行っていれば・・・、というような企画展も多いです。情報発信の多様性。多面的にいろいろなメディアを上手に作って発行することを望みます。	1 人	0 %
実施に向けて努力してほしい。	1 人	0 %
質の高い美術館を望む。	1 人	0 %
地場産業とも有機的に結びつく中で新たな美術館のあり方を提案する存在になって欲しい	1 人	0 %
自分たちの生活の中のスペースであって欲しい。	1 人	0 %

ご意見の概要	回答件数	割合
自分の郷土にある文化やそこからもたらされる芸術性、創造性を未来に伝えていくべき	1人	0%
自分は芸館と一緒に育ってきた感じがするので、新しい美術館がまた次世代の子ども達に新たな思い出を残してくれるといい	1人	0%
地元企業に発注を多くしてほしい。	1人	0%
地元で根ざし、全国からの観覧者が期待できる施設設備を望みます。	1人	0%
地元の別府が潤うとよい。	1人	0%
周囲の町との調和を考えて欲しい	1人	0%
収蔵品の展示をした展覧会の開催割合はどうなっているのか？収蔵品以外の企画ばかりなら、収蔵品はオークション等で処分すべきである。	1人	0%
周辺の自然環境や景観とマッチし、単なる美術館ではなく、癒しなどが期待でき、気軽に利用できる美術館をお願いします。	1人	0%
従来のアートに閉じこもらない、地域に開かれたアートを目指す方向性を打ち出して欲しい。	1人	0%
首藤コレクションの収納を期待する	1人	0%
障がい者のために駐車場からぬれないで一人で行けるようにしてほしい。坂の勾配を一人で登れるようにしてほしい。下水版の穴にふたをしてほしい。	1人	0%
障がい者用トイレ等トイレは多く作ってほしい。	1人	0%
小学生の子どもにとって大事な成長期にいい刺激を与えて上げたいと願っている。	1人	0%
小学生や中高生の素朴な意見、弱者(障がい者)の意見を聞くと、違う意見も出てくると思う。	1人	0%
情報が閉鎖的で知らない人も多いと思うので、もっと広めてほしい	1人	0%
食事のため外に出ると、芸館では再入場料を取られることが不満。館内にメニューが豊富な食堂を	1人	0%
身体障害者、外国人への配慮を十分にして欲しい	1人	0%
新築でも改築でも予算はかかるので、十分討論して欲しい。子どもや高齢者の憩いの場が出来れば、利用率に繋がると思う。	1人	0%
ずいぶんと知恵を絞られ、よく検討されていると思います。「そんな美術館が一日も早く実現すればいいな！」とワクワクしてきます。	1人	0%
随分貧しくて驚いている。中津は美術人口がかなり多い町ですが、福岡には足が向いても大分にはあまり向かない理由がわかった。もっと予算を確保してもらいたい。	1人	0%
少なくとも2013年7月開館予定の大分市総合文化交流施設の演劇ホールがオープンするまでは、現状のままでも利用可能な催物については最小の改修で利用を再開できるように取り計らって欲しい。	1人	0%
素晴らしい景観の国際観光温泉文化都市の別府が最適	1人	0%
素晴らしい景観を有する別府、温泉と音楽の奏でるハーモニー、芸術の何たるかを知る相応しい街である。大分唯一の心安らぐ、癒される環境の地でもある。	1人	0%
すべての機能を入れてしまうと中途半端なものになってしまうか。「美術品の展示」を主に考えてはどうか。文化施設を作ることを考えると、大分駅南の施設、ビーコンと重なり、使用先を探すのに営業担当が必要になり、コスト増につながるのでは。	1人	0%
全ての子どもたちが美術に触れる機会が多くなるような美術館にしてもらいたい。	1人	0%

ご意見の概要	回答件数	割合
全ての人に愛される美術館にしてほしい。	1人	0%
スポーツの振興や体育施設に対比して、地味な活動ですが、文化、芸術は重要です。委員の皆様には敬意を表します。今後とも、大いに声を張り上げて、活発なるご活動をお願いします。	1人	0%
世界的な逸品でアピールできること	1人	0%
世界に誇れる美術館建設を目指し、取り組んで欲しい	1人	0%
世界の名作、名画が大分で鑑賞できたら嬉しい。海外の美術館で見た感激を新設美術館でもう一度味わいたい。	1人	0%
せっかくつくるなら建物そのものが人を呼ぶようなそんな美術館をつくって欲しい	1人	0%
せっかくつくるのであれば県美展もゆっくり見られるスペースの美術館がいい。使い勝手のいい施設にしてほしい。	1人	0%
全国に誇れる、また足を運んでもらえる美術館を望む	1人	0%
全般を通して安易な入札方式にして、なおざりな管理にならないよう、維持費等にも十分な予算と監視を。	1人	0%
専門家だけでなく、グローバルに窓口を開き日本一の美術館にして欲しいです。何でも一番が良いと考えます。	1人	0%
早期の完成を目指してほしい。	1人	0%
早期の取組をお願いしたい。	1人	0%
そこにあるから是非行ってみたいと思わせる美術館を作って欲しい。	1人	0%
大都市部にあるいわゆる「ハコ型」の美術館ではなく、大分県らしい自然環境にマッチした美術館の建設を望みます。大分市に公共施設が一極集中するのは避けてもらいたい。	1人	0%
他県から移り住んだ者からみて、大分県は充実した美術館の少ない、文化後進県。これは、文化を大事にしてこなかったツケではないかと思う。美術館構想の論議をきっかけに本格的な文化論を展開してほしい。	1人	0%
他県からも来たいと思う企画	1人	0%
他県に足を運ぶこと。	1人	0%
他県に行くことが多く美術館は必ず行くが他県をよく見て皆を楽しませる箱物を作って欲しい。市の美術館はチマチマとして上がったたり下がったり年齢を重ねたら行きづらい。交通の便がよければ人も集まるけど今の館だったら行く気もしない。	1人	0%
他県にないような、しかも老人も楽しめる寄りつきやすい場所、交通の便の良い場所なら、誰でも親しみ活用できるのではないか	1人	0%
他県にはすばらしい美術館が多数あります。大分県も大分らしい、素晴らしい美術館が完成することを願います。	1人	0%
ただお金をかけるだけでは大分市美術館の二の舞になってしまう。	1人	0%
楽しみです	1人	0%
他の地方都市にはないコンセプトを掲げるのであれば「由布院にある県立美術館」はそれだけで十分な存在感を発揮すると思う。	1人	0%
他の文化施設との利用料金割引制度があるとよい	1人	0%
誕生日は無料など料金を安くしても入場者を増やす	1人	0%

ご意見の概要	回答件数	割合
単なる美術館の位置づけではなく、癒しなどが期待できる美術館 ・県民の自慢となる個性ある美術館 ・グレードの高さを堅持しつつ県民が気楽に利用できる美術館 ・周辺の自然環境や景観を借景できる美術館	1人	0%
単年度予算ではなく、数度に亘って良いので、素晴らしい美術館を建てて欲しい。	1人	0%
地域興しの一事業としてお願いしたい。	1人	0%
地域活性化や経済効果も担える美術館。	1人	0%
地域の公の空間に分館的に県立美術館作品等を展示する(出前展覧会)	1人	0%
地域の再生と隠れた財産の再発見。公民館やカルチャーセンター、研修施設のような役割、アーティストが滞在して制作できるレジデンス構想、市民向け教室に力を入れ、文化の薄い地域大分県こそ、現代作家を支持しともに成長する機会を持って欲しい	1人	0%
地域の住民の意見が反映された美術館が建てば、ずっと住民に愛される施設になると思うので、一県民として大変楽しみです。	1人	0%
小さいときから自然美術館に触れることが大切。マナーも学べてよい。	1人	0%
小さく答えをだしてほしくない	1人	0%
違うジャンルの人たちの交流が行える場であってほしい。 障害者に優しい美術館で会って欲しい。 作家が気軽に立ち寄れる場を提供してほしい。	1人	0%
違う発想のできる人がいなければ何も変わらないので、「前例がない」という人がいないような委員会であってほしい	1人	0%
地方の文化団体は高齢化の波が押し寄せ、後を担う若い人は入会してこない。県民の減少など将来を考えると不安なので、身の丈にあった美術館に。	1人	0%
駐車場を作るのではなく、公共の乗り物(列車やバス)でいけることが大切である。	1人	0%
中長期的な視点から本質的機能を十分発揮できるよう金をかけるべき。ちまちまやると今の芸術会館の轍を踏む。	1人	0%
中途半端なものにするのだけは避けてほしい。	1人	0%
ちょっとした待ち時間や、ちょっとついでによれる美術館になって欲しい。	1人	0%
都度の情報をEメール送信願いたい。 大分市美術館がもったいない。 県市共同で他県から訪問する観光・学者にも評価される館にしてほしい。	1人	0%
常に県民にアンケートを取り、企画の材料としてはどうか。	1人	0%
積み木やモザイクを常設してほしい。子どもたちの感性や創造性を育む基本が出来ると思う	1人	0%
展覧会図録や美術関連書籍が閲覧可能な図書室。	1人	0%
当初の資金調達として全県民及び他県に在住の県民にも一定金額の出資を要求し、責任を持たせる	1人	0%
年をとるにつれて文化を愛し美術を愛し美術は今のところ「何でも鑑定団」を見るくらいです。踊りや詩吟や発表の場としてホールをお願いいたします。ちなみに、詩吟、日舞ガンバッテいるおばさんです。	1人	0%

ご意見の概要	回答件数	割合
土地も財源も限りがあるので、老朽化した、手狭になったといってすぐ移転、建て替えを検討するだけでなく、他の方法も検討する余地があるのではないかと？ 小さな美術館なりの展示方法や他市と連携して収蔵品を保管する等が可能であれば、考えて見るべきだ。	1人	0%
とにかく、中途半端なものでなく、他県のひとたちがうらやみ、大分県の文化的レベルの高さを感じてくれるような「美術館」を作ってほしい。	1人	0%
長崎県美術館はコンパクトで無駄がなく、アクセスがよいので駐車場をあまり考えていないように思える。大分駅裏は最適ではないか。	1人	0%
二階堂美術館に協力してもらい、合併することにより展示品が充実し、今以上の美術館になるのでは。	1人	0%
西日本一の美術館に	1人	0%
日本中から来館者が集まるような美術館を目指すべきだと思う。	1人	0%
入札や建築に対して公明正大であり、県民に悲嘆を感じさせないで(教育委員会のように)	1人	0%
入場者数が少ない。年間何人の人が来館しているか。1回の展示で県民の何%が見に来ているのかを考えるともっと外観ではなく中身を。	1人	0%
年齢を問わず、鑑賞者に寛容な空間・環境を創って欲しい	1人	0%
野津原には世界一のミネラル水を含んだ硬水が湧出しているので、観光と一体の美術館作りを考えて欲しい	1人	0%
延べ面積11,000㎡は狭い。百年の大計を考え、20,000㎡はほしい。	1人	0%
ハード面で競わず、ソフト面で日本一の施設になって欲しい	1人	0%
白紙に戻して検討すべき	1人	0%
博物館も併設したらどうか	1人	0%
場所が基本的にどこかという点が本当に難しいと思う。	1人	0%
場所決定を間違えると来館者数の激減となるので慎重にお願いしたい。	1人	0%
場所をなぜ選定しないのですか。立地条件が構想の中で最も大切です。場所を白紙にすれば、誘致合戦や我田引水の話が百出します。どこも「県立美術館」の設置に魅力を感じています。ここは、大分県庁のある大分が全てでしょう。別府などに設置したら、周辺人口圏や交通アクセスの面から採算がとれないことはわかりきっている。 別府市立美術館は上人町にあるが、いつも閑古鳥が鳴いている。車は駐車場に一台もない。観光と美術鑑賞は両立しません。別府は欲望の町、芸術では内のです。景気浮揚と勘違いしてはいけません。	1人	0%
幅広く意見を募り、50年～100年先を見越した意見を反映させて欲しい。	1人	0%
パブリックコメントで広く県民に意見を聞くことは良いことだと思う	1人	0%
早い段階で英国のアーツカウンシルやNEAのようなプログラム・オフィサーやディレクターを育てる行動を開始すべき	1人	0%
早い出来上がりが必要	1人	0%
早く場所を選定して、つまらぬ陳情にだまされないこと。ぐずぐずしていると、益々混乱しますよ。検討委員会が決定すべきと思う。	1人	0%

ご意見の概要	回答件数	割合
半世紀後には再度建て替えか、新設かの議論をするときがやってくる。それを前提として現段階での建設を検討すべきだ。次期美術館が50年後に建て替えることを前提とするならそれなりの構造物にすべきだし、何世紀にもわたって残すべき文化を内包した構造物としての美術館を建てるのならそれを見通した建設を目指すべきと考える。	1人	0%
美術館建設に関心のない人々の意見も少し取り入れるべき	1人	0%
美術館建設は子どもから大人まで身の回りの生活の中の豊かな美の発見のきっかけや共感の礎になると思う。	1人	0%
美術館情報をTV、ラジオでも流す	1人	0%
美術館だけが孤立しているのではなく、美術館の回りにも学術的なものがあり、文化面でも整備、統一感を持たせ、長期的な展望で考えてもらいたい。	1人	0%
美術館ではなく博物館を作るべきである。	1人	0%
美術館という建物ではなく、美術という観点からどのように感じ、見てもらうかを大切に考えて欲しい。	1人	0%
美術館に訪れるまでの道、景色、帰りながらの余韻を楽しむ時間等全てを考慮して欲しい。	1人	0%
美術館に立ち寄るような街づくりとセットで建設するとよい。	1人	0%
美術館に相応しい人材の確保、職員の研修等に十分コストをかける方が良い結果をうむ。	1人	0%
美術館の館長には県職員でなく、美術評論家を登用して欲しい。黒岩恭介、黒田雷児、伊東順二、田中公人、南蔦宏、榎木野依、松井みどり、北沢憲昭など	1人	0%
美術館の建物自体が美術品として認識されるような美術館の建設を進めてもらいたい	1人	0%
美術館の建物は、それだけでアートであり文化であるから、ビーコンプラザと並び立つようなものを希望する。	1人	0%
美術館の役割とは別ですが、街の絵画その他を扱う公民館やギャラリー(いくつかの)でも時に許されるひとときを持ちますが、例えば気に入った絵があったとしても購入できません。入場料を払うわけでもありません。そんなとき、500円なり1000円なりの寄付をアメリカではよくする、寄付の行為でした。(透明な箱に札1枚とか)こうした習慣を美術館からやって下さいませんか、お願いします。庶民のアメリカ人は絵など買うことはほとんどありませんが、感心すると10ドル札、20ドル札をガラスのケースに入れてあります。習慣付いています。貧乏絵描きの励みになります。	1人	0%
美術館はあったに越したことはないが、優先順位は限りなく下位である。公立・私立の既存美術館の協力があれば問題はクリアできる。	1人	0%
美術館は建物を造ったらそれで終わりではなく、作ってからの活動こそが命。そのためには、意欲を持った若く才能のある学芸員が必要である。優れた人材の確保にも努力してもらいたい。	1人	0%
美術館は単なる箱ものではない。県民に感動や知識、充実感を与えるものであって欲しい。	1人	0%
美術館もスポーツ公園のように思い切った予算を確保して未来に続けていく価値のあるものにしてほしい。	1人	0%
美術館を拠点として癒しなどが期待できるような施設を兼ね備えたものを作って欲しい。	1人	0%
一つ一つの提案を県民の側に立ち、具体的に提案して欲しい。深まる話し合い、成長する提案を望んでいる。	1人	0%
表示が見やすいこと。	1人	0%
広く一般県民からも参加させて欲しい	1人	0%

ご意見の概要	回答件数	割合
広く県民に愛される美術館にして欲しい。一部の特定の人たちの美術館であってはならない。	1 人	0 %
広く県民の声をくむ姿勢はうれしいが、何もかも取り入れようとすると中途半端なものになる恐れがある。特徴も大切にしてもらいたい。	1 人	0 %
広く県民の皆さんの意見をまとめていただきたい。	1 人	0 %
広瀬知事の在職中に誇りになるような建築にして欲しい	1 人	0 %
複合施設(武道館、集会場)を設立願う	1 人	0 %
舞台設備のあるスペースを。	1 人	0 %
ふらっと立ち寄れる雰囲気づくりを考慮してほしい。	1 人	0 %
古い概念を捨て、新しい感覚のあらゆるジャンルのあらゆる年齢層の方々のことを考えた委員会を	1 人	0 %
文化人の単なるサロンにならないようにしてもらいたい。	1 人	0 %
文化の大切さを訴え、県民の生活に文化を取り入れるための県立美術館であってほしい。	1 人	0 %
文化ホールについては残して欲しい。	1 人	0 %
文化立県を目指す大分の芸術文化の拠点となるものであってほしい。	1 人	0 %
文芸分野も加えるとより立体的な展示構成となる	1 人	0 %
別府市移転には反対である。アクセスを考えると別府は不便。車を運転しない人でも行くことができる場所であればならない。県の中心は大分市だし、バスもJRも大分市が中心である。	1 人	0 %
ボランティア組織を作り上げたらどうか。	1 人	0 %
ボランティアが必要なら参加したい	1 人	0 %
本気でやるためには財源が必要。館長を含めやる気と知恵のある人に運営をお願いしたい。一人でも足を運んでもらえるよう広報も大事。	1 人	0 %
まずデザイン(コンセプト)をしっかり決め、県民の関心を引くことが一番。	1 人	0 %
また行きたくなる美術館、心をいやしてくれる美術館であってほしい。	1 人	0 %
街と一体になっているような美術館	1 人	0 %
街のなかの方が子どもも学生も来やすい	1 人	0 %
水戸美術館などにあるようなランドマーク的なシンボルが欲しい。	1 人	0 %
緑豊かな自然の中にたたずむ美術館であることを望む。	1 人	0 %
ミュージアムショップ。	1 人	0 %
民間資金を活用して、20~30年に一カ所増館する考え方があっていいのではないか。	1 人	0 %
めじろんやカボタンは置かないで	1 人	0 %

ご意見の概要	回答件数	割合
もっと文化の大切さを訴え、県民生活に文化を取り入れるべき。そのための美術館になってほしい。	1人	0%
山の中の体験・滞在型美術館を基本において、家族で楽しめる美術館を設置して欲しい。	1人	0%
山緑、湧水、眺望、海、拠点等からして、日出町は最適と思われる。県外から移住し、県内計1,700キロを歩いて回って見聞した結果、日出町の素晴らしさを実際に住んでみて実感しているし、大分県の将来を鑑みれば日出町が最適である。	1人	0%
やる気のある館員のいる美術館。	1人	0%
雪の翌日 車で土手を走りました。白い雪を冠して、由布の姿が豊後富士と云われてきたことがうなづけました。この自然に恵まれた環境を持つ大分が、都会の美術館と同じような建物でなく、他県には見られない自然にとけ込んだ、周囲の景色の一部分であるような、美術館であったならばと、想像するようになりました。夢のある美術館の建設を願います。	1人	0%
由布市は不便なので場所の検討をお願いします	1人	0%
ゆるキャラなどは置かないで欲しい	1人	0%
良い建物には人が集まる。	1人	0%
良いものをつくってください	1人	0%
来館者だけでなく、地域の周辺住民が美術館ができて本当に良かったなと思えるような住んでよし誇れてよしの明るく楽しい美術館ができるようお願いしたい。	1人	0%
来場者の意見等マーケティングをし、その結果を立て替えに向けた根拠資料として提示して欲しい。	1人	0%
立地が遠いところになると行きにくいので交通機関の便利などがよい。	1人	0%
立派な美術館をつくれれば、県民の文化度が上がると思うのは疑問。市町村に使用料が安く気軽に利用できるギャラリーをつくることにより底辺が拡大する。地方の文化度を上げなければ、大きな美術館を建設しても宝の持ちぐされになる。	1人	0%
利便性のある「足」を確保する	1人	0%
レストランは自然の景色が見えるようにしてほしい。	1人	0%
若いアーティストのための個展会場も	1人	0%
若いアーティストは仕事の関係で美術館運営に携わりたくても難しいが、携わる世代が偏らない配慮してほしい。 メール、ブログ、ツイッターなど様々な形式で情報収集し、若い世代の声を取り入れてほしい。	1人	0%
若い人の感性を織り込んだ箱物であってほしい。	1人	0%
一般市民の声を大切にすることも必要だが、やはり「専門家」を大事にして、プロの感覚ですばらしい美術館を計画してもらいたい。	1人	0%
景色の楽しめるもの	1人	0%
芸術会館利用者の、世代の硬直化、作品のマンネリ化などが顕著になっているように感じる。美術館は世代やジャンルを超えてコラボレーション装置にもなり得るし、作家間の交流や伝承の機会を生み出すことも重要である。	1人	0%
県内には芸術文化短期大学等芸術を学ぶ大学があり、美術の教育について学び研究している学生も多くいる。そうした学生に対して専門的な事を学ぶ場として、開かれた美術館であるとうい。	1人	0%

ご意見の概要	回答件数	割合
県民に人生の選択肢を増やして欲しい。	1人	0%
現在指定管理体制が導入されている県もありますが、指定管理体制では数年契約などになる場合も考えられます。調査・研究という面では、広い知識と専門性を有している学芸員は県直営でなければ大分の美術の素晴らしさを伝えていくことが難しいのではないかと考えます。	1人	0%
工業が盛んな県なのに、科学を子どもたちが学べる場が少ないので、博物館、科学館の方が欲しい。	1人	0%
子ども、大人と一緒に来て満足できるように①子ども科学未来館や②歴史資料館を併設するか他県の美術館のいいところをさらに充実させるようにする。	1人	0%
子どもたちが小さいときから芸術に触れ、文化的情緒的な人として成長するのが望ましい。	1人	0%
大分は南蛮文化発祥の地。別府は留学生の多い町。大分には、新しいものや異文化を受け入れる土壌があると思う。	1人	0%
中心市街地に美術館が誘致できれば、芸術・文化を通したまちづくりの顔としてふさわしい拠点づくりが可能となるとともに、完成後は多くの県民・市民が集い、また、有力な観光資源として、県外や外国人の観光客へアピールできるなど、活性化への効果は絶大であると確信しています。寿町の厚生学院跡地やパルコ跡地、城址公園などを候補地として、大分市中心部への建設をご検討してほしい。	1人	0%
年月をかけ、あらゆる準備の元多くの人々の叡智のもとに21世紀の美術館は生まれてくるということを感じている。自治体が丸抱えという財政環境では困難だろうが、21世紀にふさわしいコンセプトでまず市内の中心部にあるべきだと思う。国家プロジェクトのヨーロッパや富豪のスポンサーが支えるアメリカと異なり、大衆がスポンサーの日本だ。まず、スポンサーのしやすい環境を整備することが第一だと思う。次に訪れたいと思う気持ちになるようなアミューズメントの感覚も必要。	1人	0%
美術講座やワークショップなども開催できるスタッフ陣をもつ美術館になってほしい。	1人	0%
隣接する能楽堂がその目的を果たしていないので、能楽堂のスペースを含めて建替えを検討すれば十分実現可能である。大分市に現在地以外に適地はない。新たな土地の取得は現在の財政状況から不可能に近い。	1人	0%